

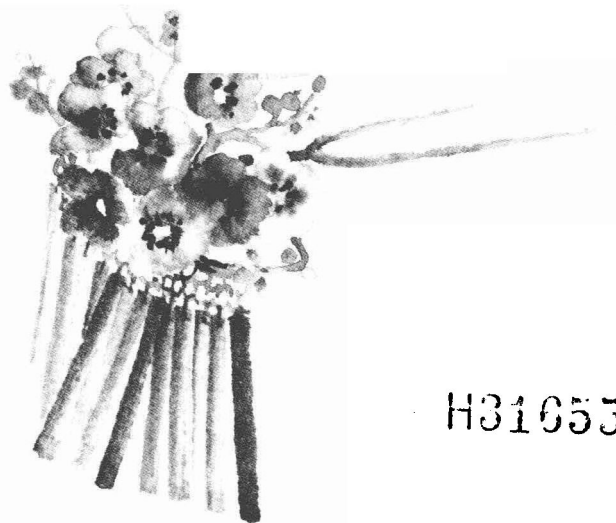
山口富美恵

芸者雪その青春



山口富美恵

芸者半生の青春



H31055

芸者雪そのの青春 げいしやゆき　せいしゅん

一九八六年五月二十五日 第一刷発行

著者 やまぐちみえ 山口富美恵

発行者 堀内末男

発行所 株式会社 集英社

101 東京都千代田区一ツ橋二一五—10

出版部 (03) 二三八一—二八四二

販売部 (03) 二三〇—六一七一

製作課 (03) 二三八一—二九六四

印刷所 凸版印刷株式会社

定価 一二〇〇円

© Tomei YAMAGUCHI Printed in Japan, 1986
ISBN4-08-775084-1 C0095

著者との了解により検印を廃止いたします。
落丁・乱丁の本が万一ございましたら、小社製作課宛に
お送りください。送料小社負担でお取り替えいたします。
本書の内容の一部または全部を無断で複写、複製、転載
することを禁じます。



花は根に帰すべしと心得、祇園を終の栖と定め、一期一会を大切に生きる「丸梅」の女将・山口富美恵さん
撮影＝溝口清秀



母・山口富子は明治の元勲伊藤博文の娘



若かりし頃は閻魔堂小町と呼ばれた祖母



念願を果たして芸者になった一人娘の阿美さん



「可愛い花嫁」になることが夢だった、と山口さん

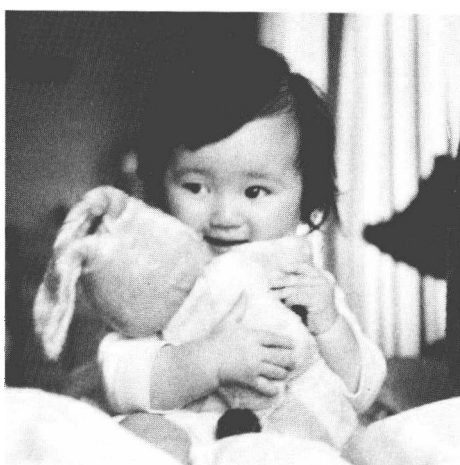
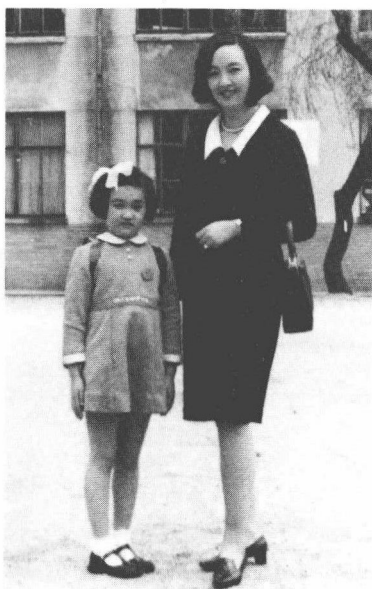


▲ 3歳頃の山口さん
◀ ファッション・モデルとして活躍していた、19歳頃の山口さん



「丸梅」のお客さんの間で人気の貝塚茂樹先生(左前)、桑原武夫先生(左後)、山口さん、光元篤子さん(右後)

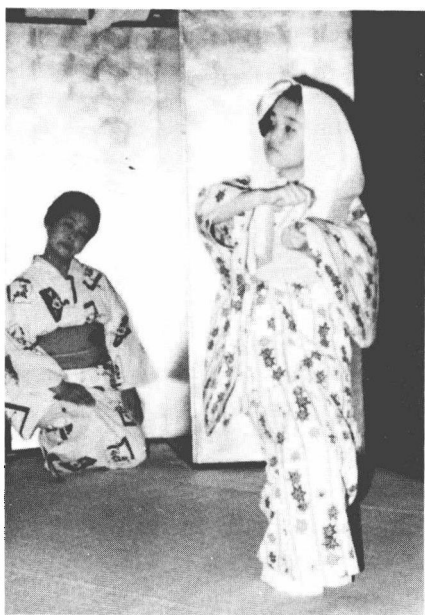
▶ 阿美さん満1歳のひな祭り
▼ 2歳頃の阿美さんと、山口さん



▲ 1歳半頃の阿美さん
◀ 小学校の入学式の日、校庭での阿美さんと山口さん



仕込みっ子になる前の15歳頃の阿美さん



▲ 3歳から始めた踊り、8歳頃の阿美さん
▼ 夏の「ゆかた会」での9歳頃の阿美さん





昭和56年度「都をどり」茶席 雪そのさんと佳つ乃さん(左)

昭和57年度「都をどり」
 “吉野太夫”を演じる、祇園
 の名妓・その子姐さん(左)

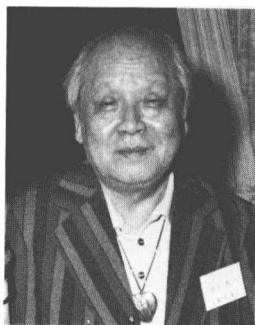


昭和57年度「都をどり」茶席
 雪そのさん

写真提供＝馬淵好一氏



左より山口さん、平田清明先生、雪そのさん、佐和隆光先生(「丸梅」にて)



今は亡き田辺茂一さん



雪そのさんと尾上久雄先生

芸者雪そのの青春＊目次

I 五月闇(きつきやみ)の章

15

娘の家出

17

廓の灯

33

萌黄色の季節

48

黄粱一炊の夢

63

II 卯月野(うづきの)の章

77

祇園祭の宵

79

「めかけ」と「てかけ」

87

めんそーれ沖縄

95

芳紀まさに十五歳

107

廓の男の子 116

Ⅲ 雲の峰（くものみね）の章 131

ティーチャーズ・ペット

133

里の秋 140

比叡おろし 148

舞妓志願の京娘 155

Ⅳ 白南風（しらはえ）の章 165

花筏 167

仕込みっ子 177

芸者雪そのの誕生 185

V

朝虹(あきにじ)の章

205

オー・トレビアン、アラン・ドロン

207

舞妓シンドローム

217

女の道それぞれ

225

あれから十年

231

あとがき

236

芸者雪その青春

